

World Watching 211

ワールド・ウォッチング



桑島 隆一

国土交通省北海道開発局
釧路開発建設部長



はじめに

マニラ港は、人口約2,300万人のマニラ首都圏（マニラ市を含む16市1町の大都市圏）を背後に抱えるフィリピン最大の貿易港で、北港と南港にそれぞれ国際コンテナターミナルを有し、2016年の国際海上コンテナの取扱量は322万TEU、国全体の80%以上を占めている。2014年2月にマニラ市当局が施行した日中、市内のトラック通行の全面規制に端を発して、コンテナを運ぶトラック輸送が大混乱に陥り、慢性的に混雑していたマニラ港はさらに著しく混雑した。以降、各種の対策が実施されてきているが、本稿では2016年4月より本格運用されたマニラ港のコンテナ搬出入予約システム（TABS：Terminal Appointment Booking System）について紹介する。



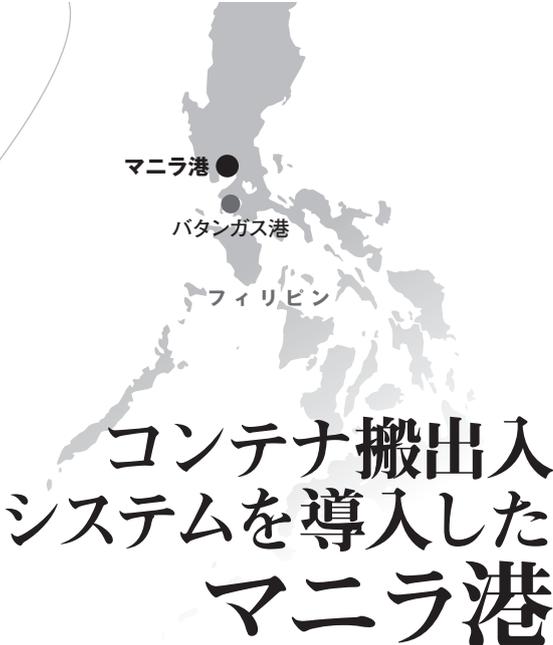
交通渋滞、トラック規制とコンテナ搬出入予約システム（TABS）の導入

マニラ首都圏では、通常なら10分程度で到着できるところも、大渋滞に巻き込まれると移動に1時間以上かかるケースも発生



大渋滞のマニラ市内

する。このため首都圏内の交通混雑緩和のため一般車両はナンバープレートの末尾番号によって、週に1度、中心部の乗り入れが規制され、またトラックは朝の6時～10時までの間と夕方の17時～22時までの間は通行が規制されている。これに加えてマニラ市当局は10時～17時の間も空コンテナを積載したトラ



コンテナ搬出入 予約システムを導入した マニラ港



マニラ港の国際コンテナターミナル

クに限ったものの、日中のトラックの市内通行を全面的に規制したのである。この影響を受けて、トラック輸送のサイクルタイムは大幅に長くなり、輸送料金も高騰した。そしてマニラ港では行き場を失った空コンテナが大量に滞留し、コンテナヤードにおけるコンテナ蔵置数は計画容量を超え、クレーン1台の時間あたりのコンテナ取扱量は10個程度に低下、沖合には常時10隻以上のコンテナ船が滞船し、接岸には1週間以上を要する事態になった。このためフィリピン政府、フィリピン港湾公社及びターミナルオペレーター等が協力して、滞留する空コンテナの強制搬出、長期間滞留するコンテナへのペナルティ強化、バタンガス港等の近隣港の利用促進、マニラ港にアクセスするトラック専用レーンの開設等々の対策を実施し、さらにコンテナ搬出入予約システム（TABS）の運用を開始した。



TABSの仕組み

マニラ港で運用を始めたTABSは、オーストラリアの企業が開発したトラック乗り入れ予約システムで、コンテナターミナルにトラックが乗り入れする際には事前に到着時間帯（1時間単位）を予約しなければ入構できないとするものである。ゲートを通り抜けるトラックを料金徴収もあり得る形であらかじめ一定数に予約制限することにより、マニラ港に出入り

するトラック輸送を平準化させて、マニラ首都圏を中心とする道路の渋滞緩和、そしてトラック輸送にかかる所要時間の短縮（稼働率の改善）と運行管理の向上を図るとともに、ゲート周辺の混雑緩和はもとより、マニラ港の運営・管理の効率化をも目指すものであり、その概要は以下のとおりである。

●利用のガイドライン

TABSの利用にあたってはポイント口座（1ポイントは1ペソ相当）を設けるとともに、トラックのプレートナンバーを登録しなければならない。予約した時間枠は実際の利用まで変更可能で、また入構するトラックも変更可能である。輸出コンテナの搬入、輸入コンテナの搬出及び空コンテナの搬出入それぞれにTABSでの予約が必要である。但し、入構時にコンテナ搬出入の両方を行うダブルトランザクション（Double Transaction）の場合は、搬入時の予約だけで搬出時の予約は不要。TABSで予約されたトラックは、トラック通行規制の免除が受けられる。

●時間枠の利用料金

1週間の各曜日における時間帯別の利用料金は、別掲の「TABSの時間枠料金（マニラ北港）」のとおりで「無料」、「割引」、「有料（300ペソと500ペソ）」の3つに区分されている。無料を基本としているものの、市内の交通混雑が激しい朝方と夕方時間帯は有料とし、特にトラック通行規制の時間帯（6時～10時と17時～22時）は基本的に割高の利用料とされている（マニラ北港）。またコンテナ搬出入の平準化を図るため、日曜日は無料予約に加えて予約通りに入構した場合、一定額の300ペソ（ポイント）が割り戻されるインセンティブが設けられている。ただ、既に予約して支払われた代金は、例えば有料から無料の時間枠に変更しても払い戻されない。

●ペナルティ（到着遅れ等による課金）

コンテナターミナルに到着するトラックには、予約した時間枠から2時間以内の遅れであれば猶予時間として追加料金なしで入構できるが、2時間を超えて3時間までは1,625ペソのペナルティが課せられ、さらに3時間を超える場合は2倍の3,251ペソのペナルティに加えて予約も取り直す必要がある。また予約した時間枠より早い到着の場合も2時間を超える場合は1,625ペソのペナルティが課せられる。



TABSの運用と効果

2016年4月以降のTABSの本格実施により、以下の運用効果などが期待でき、また実際に北港ではコンテナターミナルの拡張と合わせてTABSの運用に

時刻割	月	火	水	木	金	土	日
0時～4時	300ペソ 割引	無料					300ペソ 割引
4時～6時	300ペソ						
6時～10時	300ペソ	500ペソ			300ペソ		
10時～11時	300ペソ						
11時～16時	無料						
16時～17時	300ペソ						
17時～22時	500ペソ			300ペソ			
22時～24時	無料						

トラック通行規制時間帯 1ペソ=約2.2円（2017年11月現在）
TABSの時間枠料金（マニラ北港）

よりコンテナ取扱量が30～40%増加したとの報告もなされている。

●コンテナ搬出入の平準化

TABSにおける日曜日やトラック通行規制のない時間帯等における利用料金の優遇措置により、これまで利用が少なかった週末や深夜時間帯に入構するトラックが増加し、コンテナ搬出入の平準化が図られる。

●交通混雑の緩和

深夜や週末のトラック入構の増加は、首都圏のトラック走行の交通量をピークからオフピークにシフトさせ、交通混雑の緩和が図られる。さらにトラック到着がこれまでのランダムな状態から予約制に代わることから、ゲート前の交通混雑が改善され、周辺地域での違法駐車減少やトラック入構の迅速化も図られる。

●トラックのリードタイムの減少とターミナルの効率化

TABSによりトラックの到着が整流化され、入構も迅速化されてトラックの入構台数が増加するとともに、トラックが入構してからコンテナを搬出入するまでのリードタイムの減少が期待できる。これによりターミナルに滞留するコンテナの減少等も期待でき、ターミナル運用の効率化や取扱能力の強化が図られる。



おわりに

マニラ市内の全面的なトラック通行規制が、マニラ港の混雑に一層拍車をかけ、世界のコンテナ船の運航スケジュールを乱すまでにマニラ港の機能を麻痺させた。そしてサプライチェーンの途絶は、ジャストインタイムを基本に据える日系企業の生産活動にも多大な被害を与え、積極的に誘致していた海外投資をも頓挫させ、フィリピンの経済成長の最大の阻害要因となった。このような交通混雑、港湾混雑の状況をブレイクスルーさせる取り組みとしていやが応でも導入に至ったTABS。事情背景は異なっても、今後、我が国におけるコンテナ搬出入予約システムの導入検討の参考になれば幸いである。